

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名		岡山県立林野高等学校		
実践者等		1年国語科	実践日	令和4年7月4日
実践場面 <small>(教科・科目(単元名)、学校行事等)</small>		言語文化(羅生門)		
対象生徒(学年等)		普通科1年		
育成を目指す資質・能力		<input checked="" type="checkbox"/> 知識・技能 <input checked="" type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input checked="" type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input checked="" type="checkbox"/> 思考やデータの可視化 <input type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input checked="" type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input checked="" type="checkbox"/> 思考を促す活用 <input checked="" type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化や省力化 <input type="checkbox"/> その他()		
	家庭学習	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 探究 <input checked="" type="checkbox"/> 反転学習 <input type="checkbox"/> 補習・定着		
実践の内容				
<p>【授業】</p> <p>(1) 「下人」の心情の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小説読解のポイントは「出来事→心情→行動」の流れに注目することだということを確認し、「下人」の心情を分析させた。 ・分析方法は、心情が変化したきっかけだと考える出来事を挙げさせ、その際の心情を喜怒哀楽の各0～5点で、点数化させた。 ・二人組をつくり、意見を交換させながらグラフを作成させた。(数値を入れれば自動的にグラフを作成できるスプレッドシートを事前に準備しておいた) <p>(2) 発表に向けての準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喜怒哀楽の点数をなぜその点数にしたのか、心情が大きく変化しているのはどの出来事がきっかけか、という二点を説明できるように、二人組で話し合いを行わせた。 <p>(3) 本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後の場面になるにつれて、グラフの説明がしにくくなっていることを確認した。 ・次時は、本時に作成したグラフを抽象化し、自分たちのグラフの分析を発表していくことを予告した。 				

芥川龍之介「羅生門」下人の心情分析

下人の心情を折れ線グラフで表してみよう！「出来事」は、その心情になるに至ったきっかけを書こう。喜怒哀楽は0～5の数字をそれぞれ打ち込もう。
 ※「出来事」はできるだけ多く、時系列に沿って挙げてみよう！

出来事	喜	怒	哀	楽
(例) この男のほかに誰もいない	1	3	4	2
ぼんやり、雨の降るのを眺めていた	1	2	5	1
四、五日前に主人に薪を出された	2	4	4	0
大儀そうに立ち上がった	0	3	3	0
死人はかりだと高をくくった	3	2	2	1
死人が転がって、おしのごとく黙っていた	0	4	4	2
六分の恐怖と四分の好奇心に動かされて、暫時は息をするのを忘れていた	1	2	4	3
死骸の髪の毛が、一本ずつ抜けていった	0	4	4	2
両足に力を入れて、いきなり、はしごから上へ飛び上がった	0	5	2	0
老婆の生死が、全然、自分の意志に支配されているということ意識した	0	1	3	0
「この髪を抜いてな、この髪を抜いてな、かつらにしよう思うたのじゃ。」	0	1	4	0
足にしがみつこうとする老婆を、手無く死骸の上へ蹴倒した	0	4	1	2
姿を消した	0	0	0	0

